

三島中学校 学校通信12月号

令和7年12月1日（月）

いよいよ今日から12月です。今年の新語・流行語大賞にノミネートされている「二季」を知っていますか？「四季」ではなくて「二季」です。近年、「春と秋が短くなった」と感じるようになりました。そんな体感を言い表す言葉として2025年の新語・流行語大賞にノミネートされたのが「二季」です。日本の季節は「四季」で春夏秋冬です。「二季」とは、四季のうち春と秋が縮まり、夏と冬の季節だけが長く続くように感じられる現象を指す言葉です。心地よい風が吹いていた秋がとても短く感じ、急に寒くなって体が慣れないまま12月になりました。短くなった春や秋でもきれいな花や紅葉を感じ、春夏秋冬をしっかりと楽しんでいきたいものです。また、インフルエンザが全国的に大流行しています。徳島県でも例外ではありません。委員会活動の目標の中に、「換気をする」という目標がありましたが、手洗いうがいに加えて「換気」をしっかりとしましょう。体調に十分注意をして今年のまとめである師走を過ごしてください。

さて、先日11月25日（火）午後6時ごろ、熊本県で最大震度5強を観測する強い地震がありました。震源地は熊本県阿蘇地方で、震源の深さはおよそ10km、地震の規模を示すマグニチュードは5.7と推定されています。今回のこの地震から思い出したのは2016年4月14日に発生した熊本地震です。この地震では、最初にマグニチュード6.5の地震（前震）が発生し、これに誘発されるように、28時間後に隣接する断層でマグニチュード7.3の地震（本震）が立て続けに起こりました。大地震では大きな余震を伴うことが多いのですが、その余震としてより大きな規模の地震が数日以内に起きた事例は非常に少ないとのこと。この地震の発生によって、熊本県の益城町や西原村では震度7の激しい揺れが2度も起こったそうです。また、熊本地震の余震活動は極めて活発だったようで、震度3以上を観測する地震の数は1ヶ月で約500回を超えたそうです。今回の地震では、熊本県阿蘇地方や大分県竹田市で、今も余震が続いているようです。私たち三島中学校も「災害に強い学校づくり」をめざしています。11月5日には、地震を想定したシェイクアウト訓練を一齐に行い、定期的に様々な避難訓練を行っています。昨年度の夏休みには、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が出され、非常体制を取りました。発生危険度の高いと想定されている南海トラフ地震にも普段から備えておきましょう。そして、地震を含めた様々な災害に対応できるようしっかりと備えていきましょう。

12月23日に冬休み前集会を行い、今年一年を終えます。しっかりと振り返り、新年の抱負を立て、新しい年をお迎えください。保護者や地域のみなさまには、大変お世話になりました。今後ともご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

三島中学校長 松永貴史

12月の予定

- 2日（火） 中間テスト（全学年）
- 3日（水） 中間テスト（3年生）、スクールカウンセラー来校
- 5日（金） 校外学習
- 7日（日） 三島会館もちつき大会
- 9日（火） 教育相談（～12日まで）
- 15日（月） 集金引き落とし日
- 17日（水） スクールカウンセラー来校
- 23日（火） 冬休み前集会、大掃除
- 24日（水） 冬季休業（～1月7日まで）

